

# 日本爬虫両棲類学会

## 第47回大会プログラム

The 47<sup>th</sup> Annual Meeting of  
the Herpetological Society of Japan



栃木県総合教育センター  
2008年10月25日(土)～10月26日(日) 宇都宮

共催：栃木県立博物館

## 日本爬虫両棲類学会 第47回大会

日程：	2008年10月25日(土)		10月26日(日)	
	受付	09:00～	受付	09:00～
	開会	10:20	口頭発表	09:30～10:30
	口頭発表	10:30～12:00	ポスター発表	10:30～12:00
	記念写真撮影, 昼食		昼食	
	口頭発表	13:30～15:00	総会	13:00～14:00
	ポスター発表	15:00～16:30	口頭発表	14:15～15:45
	懇親会	17:30～19:30	閉会式	15:50

会場：栃木県宇都宮市瓦谷町1070 栃木県総合教育センター <http://www.tochigi-edu.ed.jp/center/>

会費：大会参加費3,500円, 懇親会費4,500円

### 受付・クローク：

- ◇受付開始は, 10月25日(土)・26日(日)ともに, 9時からです。
- ◇参加申し込みをされている方は, 受付で名札等をお受け取り下さい。
- ◇クロークは, 25日(土)は9時から16時45分まで, 26日(日)は9時から16時までご利用いただけます。

### 昼食：

- ◇25日(土), 26日(日)の弁当を予約されている方は, 受付時に弁当券をお渡ししますので, 昼食時にお弁当をお受け取り下さい。
- ◇会場周辺には食堂やコンビニエンスストア等はありませんので, 弁当を予約されなかった方は, 各自昼食をご持参下さい。お茶・コーヒーなどは休憩室に準備します。また, 飲み物の自動販売機は会場にあります。

懇親会：10月25日(土) 17:30～19:30 ホテル丸治 宇都宮市泉町1-22

TEL：0120-37-0215または028-621-2211 <http://www.maruji.jp/>

- ◇大会会場から懇親会場への送迎バスが出ますので, ポスター発表終了後, すみやかに正面玄関にお集まりください。
- ◇事前に参加申し込みをされている方の名札にはシールが貼られていますので, ご確認下さい。
- ◇当日参加(4,500円)も受付けますので, 25日(土)昼休みまでに受付にてお申し込み下さい。

総会：10月26日(日) 1階 大講義室 13:00～14:00

記念写真：10月25日(土) 12:00～

- ◇10月25日(土)の午前の口頭発表終了後すぐ, 総合教育センター中庭にて行います。
- ◇写真は, 会誌(和文誌)にも掲載されますので, 写真を申し込まれていない方もお集まり下さい。

大会事務局：〒320-0865 栃木県宇都宮市睦町2-2 栃木県立博物館内

日本爬虫両棲類学会第47回大会事務局

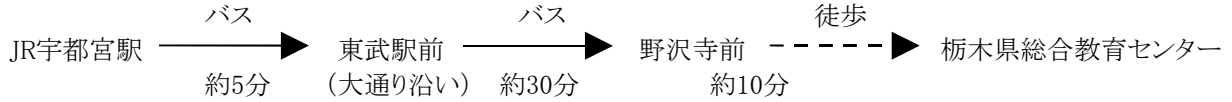
林光武 E-mail:[imori@muse.pref.tochigi.lg.jp](mailto:imori@muse.pref.tochigi.lg.jp)

TEL：028-634-1311 FAX：028-634-1310

注意：開催日は電話に出ることはできません。

## 大会会場への交通

### ◆バス利用(関東バス利用)の場合



・JR宇都宮駅から:**駅西口8番のりば**より、「今市・日光東照宮行き」、「船生行き」、「山王団地行き」、「石那田行き」に乗り、「**野沢寺前**」下車。

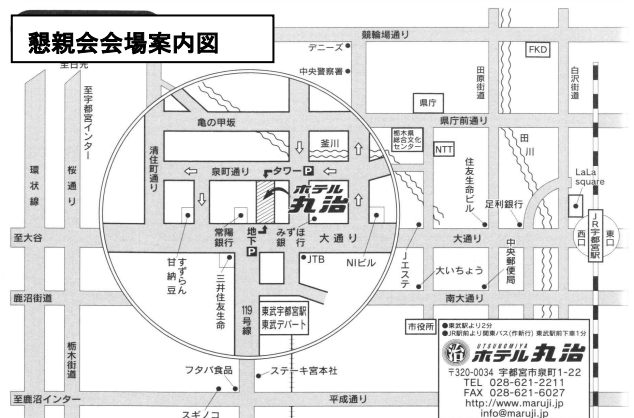
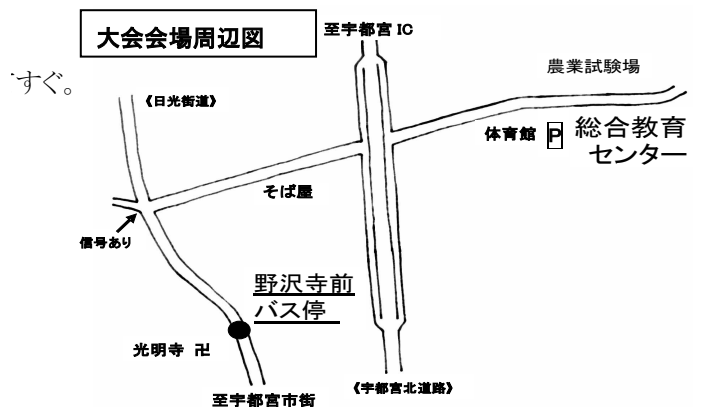
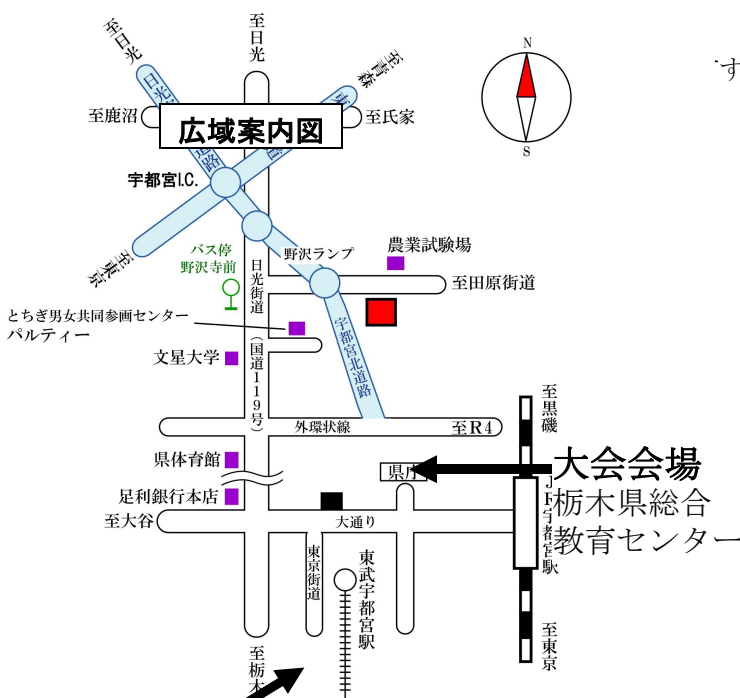
《 バス時刻表 ※詳しくは「アットちぎ 関東バス時刻表検索」をご利用ください 》

時	分
6	20 40
7	00 10 30 40
8	00 10 30 50
9	10 30 45
10	05 25 45
11	05 25 45
12	05 25 45
13	05 25 45
14	05 25 45
15	05 20 35 50
16	05 20 35 50
17	05 20 35 50
18	10 20 45
19	00 20 35
20	00 25 55
21	30 55
22	52

時	分
6	20 40
7	10 30
8	00 10 30 50
9	10 30
10	05 25 45
11	05 25 45
12	05 25 45
13	05 25 45
14	05 25 45
15	05 20 35 50
16	05 20 35
17	05 20 35 50
18	10 20 45
19	00 20
20	00 25 55
21	55

時	分
6	02 45
7	00 11 16 27 30 42 50 56
8	15 25 46 55
9	20 47 55
10	10 32 55
11	12 35 55
12	12 35 55
13	15 35 55
14	12 32 55
15	15 32 55
16	15 27 45 55
17	15 27 45 55
18	15 27 52
19	17 55
20	22 47
21	
22	17

時	分
6	02 45
7	00 11 16 42 50
8	15 25 46 55
9	07 30 42 55
10	22 55
11	12 35 55
12	12 35 55
13	15 35 55
14	12 32 55
15	15 37 55
16	15 45 55
17	15 27 45 55
18	15 52
19	17 55
20	47



懇親会会場  
ホテル丸治

## 講演される方へ

### 口頭発表をされる方

講演は1題につき発表時間12分、質疑応答が3分です。10分、12分、14分30秒に予鈴を鳴らします。PCプロジェクターのページ数に制限はありませんが、発表時間を厳守して下さい。会場にはWindows (XP)を用意します。使用できるソフトはMicrosoft PowerPoint2003とAdobe (Acrobat) Readerのみです。PowerPoint2007使用の方は、2003と互換性のある形式で保存して下さい。なお個人のノートパソコンのプロジェクターへの接続はできません。あらかじめご了承下さい。

当日は、発表用ファイルをCDにてご持参下さい。CDの不具合も予想されますので、万が一に備えフラッシュメモリー等でもバックアップをご用意頂ければ幸いです。なお当日の受付は混雑が予想されますので、可能な方はCDの事前提出をお願いいたします。大会事務局まで郵送していただければ、事務局で作動の確認をした上で連絡を差し上げます。

当日のデータ入力に関しては、「口頭発表データ受付」にコンピューターを用意いたしますので、各自指定されたフォルダにコピーし、作動を確認した上で、CDを受付にご提出下さい。10月25日(土)の午前中に発表される方は10時までに、午後に発表される方は13時までに必ずコピーを済ませ、CDを提出して下さい。26日(日)に発表される方は、25日(土)のポスター発表の時間を利用して下さい。それぞれ上記の時間に遅れると、最悪の場合、発表できなくなってしまう事態も考えられますので、くれぐれもご注意下さい。

なお備え付けのコンピューターの使用は、ファイルのコピーとファイルのオープンの確認のみにとどめてください。受付での文字やレイアウトの変更は他の発表者の方々のご迷惑になりますので、かたくお断り申し上げます。文字化けやレイアウトのずれがないよう、システムに含まれるフォント (MSゴシック等) を使用すること、各スライドには余白を十分に取ること、アニメーションは入れずに製作することをお勧めいたします。特にPowerPointのバージョンが異なると、レイアウトが変わることがありますのでご注意下さい。上のバージョンをご使用でない方、ご心配な方は一度JPEG形式の画像ファイルで保存し、それを再度スライドとして作成する等の対応をお願い申し上げます。

### ポスター発表される方

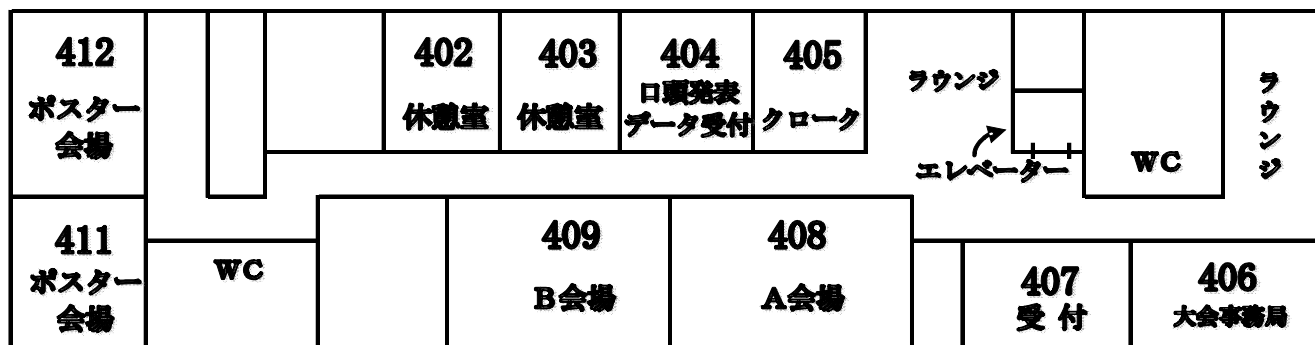
ポスター会場のパネルに講演番号を付けてありますので、所定の場所に貼って下さい。パネルは幅90cm×高さ180cmです。10月25日(土)には奇数番号、26日(日)には偶数番号の発表者がポスター前でお立ち下さい。ただし、都合が悪い場合には奇数偶数にこだわらず、どちらにお立ちいただいてもかまいません。ポスターは、25日(土)の受付開始時からお貼りいただいて結構です。また、26日(日)の15時までに剥がして下さい。この時刻までに剥がされていないポスターは事務局で処分いたします。

### 講演要旨の提出

電子データでの提出をお願いします。詳細は次ページの和文誌編集委員会からのお知らせをご覧ください。

### 会場案内図

栃木県総合教育センター 4階



## 日本爬虫両棲類学会第47回大会 講演要旨の作成と提出に関する要項

### ◆はじめに

今大会の講演要旨は、2009年3月発行予定の爬虫両棲類学会報第2009巻第1号に掲載されることになっています。講演要旨を掲載するにあたっては、原稿の回収や編集が大きな負担となるため、次のような要項で講演要旨の電子データによる提出をお願いしております。今大会も皆様のご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。なお、どうしても電子データの提出が困難な場合は従来通りの手書き原稿のみで結構です。

### ◆講演要旨作成について

口頭発表、ポスター発表とも講演要旨を作成して下さい。表題、発表者氏名、所属、英文表題、英文氏名、本文の順にお書き下さい。本文の字数は660字（22字 x 30行）以内、英文の場合は200 words以内です。パソコンやワープロの場合は、A4判用紙に読み取れる大きさの字で作成して下さい。レイアウトは爬虫両棲類学会報第2008巻第1号の学会大会講演要旨をご参照下さい。手書きの場合は400字詰め原稿用紙にお書き下さい。なお、爬虫両棲類学会報は和文を原則としているので、外国人の方が主発表者の場合でも、日本人の方が共同発表者に入っている場合は、和文の要旨をご用意ください。

### ◆電子データ提出について

#### 1. メールをご利用になる方

**10月24日12時まで**に講演要旨をメールの添付ファイルとしてお送り下さい。利用できるワープロソフトはMSワード、一太郎、EGWORD (egword Universal 2)、Jeditです。この場合、大会当日に印刷原稿をお持ちいただく必要はありません。これらのソフトがない場合は、メールの本文に講演要旨を入れてください。ただしその場合は、イタリック体や特殊文字が利用できませんで、それらを指示した印刷原稿を大会当日に受付に提出してください。

#### 2. 添付するファイル名について

**ファイル名は、必ず『講演番号-第1発表者氏名』としてください。**講演番号は半角の大文字とし、ハイフオン等は挿入しないでください。ただし、講演番号と第1発表者名の間には、半角の-を挿入してください。（例：P01-栃木花子.doc）

講演要旨送り先アドレス：abst@frog.econ.keio.ac.jp

#### 3. メールをご利用にならない方

大会当日に印刷原稿およびその電子データをご提出下さい。利用出来るワープロソフトはメールの場合と同じです。それらのソフトがない場合は、テキスト形式のデータをお願いします。電子データは、CD-R、CD-RWのいずれかに保存してください。特にご要望のない限り、媒体の返却は致しませんのでご了承下さい。提出はいつでも大会受付をお願いします。

注意：パソコンで表記出来ない漢字が含まれる場合は、表記可能な漢字に代替して頂くか、それが困難な場合は、印刷原稿に指定の漢字を朱書きしてご提出下さい。

### ◆手書き原稿のみを提出の場合

口頭発表、ポスター発表ともに、大会当日に受付へご提出下さい。

日本爬虫両棲類学会  
和文誌編集委員会

口頭発表 A会場(408 研修室) 10月25日(土)

(座長: 太田 宏)

1A01 10:30~10:45 ○岩井紀子(東大院・農・森林動物)・Richard G. Pearson・Ross A. Alford (James Cook Univ.)

「熱帯雨林溪流の落葉リター分解におけるオタマジャクシーシュレッター相互作用」

1A02 10:45~11:00 ○大西 拓(琉大・理工・海環)・太田英利(琉大・熱生研)

「同所的に生息するハナサキガエル類2種における活動, 繁殖, 成長について」

1A03 11:00~11:15 ○福山欣司(慶応大・生物)・沼澤マヤ(フロッグハウス)

「トノサマガエルとダルマガエル2亜種におけるメスの攻撃行動 II」

1A04 11:15~11:30 ○見澤康充・岩川敬樹(建設環境研究所)・尾後大輔・平松信太郎(嘉瀬川ダム工事事務所)・吉田喜美明(佐志中学校)

「佐賀県嘉瀬川ダム周辺地域におけるカジカガエルの保全のとりくみ」

1A05 11:30~11:45 ○田中-上野寛子(明治学院大・生物)・松井久実(麻布大・獣医・生理1)・宇根有美(麻布大・獣医・病理)・福山欣司(慶応大・生物)

「カエルツボカビゲノムの微量検出法」

1A06 11:45~12:00 ○松井久実(麻布大・獣医・生理1)・田中-上野寛子(明治学院大・生物)・宇根有美(麻布大・獣医・病理)・福山欣司(慶応大・生物)

「日本産カエル類に対するカエルツボカビ感染実験の進捗報告」

12:00~13:30 記念写真撮影(中庭), 昼食

(座長: 富永 篤)

1A07 13:30~13:45 ○中村光順(弘前大院・農学生命)・Nikolai A. Poyarkov (Dept. Vertebrate Zool., Moscow State Univ.)・曾曉茂(中国科学アカデミー・成都生物研究所)・黒尾正樹(弘前大・農学生命)

「サンショウウオ科における高頻度反復DNAに基づいた系統解析」

1A08 13:45~14:00 ○吉川夏彦・松井正文・西川完途(京大・人間・環境)

「東北日本産ハコネサンショウウオの遺伝的変異」

1A09 14:00~14:15 ○菅野一輝(岐阜高校・自然科学部)・高木雅紀(岐阜高校)・大原健一(岐阜県河川環境研究所)・大野陽哉・武藤悠介・今井田千佳・間野修平・小嶋一輝・小泉杏奈(岐阜高校・自然科学部)

「岐阜県に生息するカスミサンショウウオの現状および保護活動と遺伝的多様性の分析」

1A10 14:15~14:30 ○松木崇司・松井正文・西川完途(京大・人間・環境)

「カスミサンショウウオにおける骨切片を用いた年齢推定: 長期再捕獲に基づく精度の評価」

1A11 14:30~14:45 ○坂本真理子(エフトレック)・阪田和弘(西日本技術開発)・松井正文(京大・人間・環境)

「コガタブチサンショウウオ2個体群の成長の比較」

1A12 14:45~15:00 ○田口勇輝(京大院・地環/兵庫県博)・夏原由博(京大院・地環)・三橋弘宗(兵庫県博/兵庫県大)

「オオサンショウウオは定住性をもつか?」

15:00~16:30 ポスター発表

17:30~19:30 懇親会

口頭発表 B会場 (409 研修室) 10月25日 (土)

(座長：鳥羽通久)

- 1B01 10:30～10:45 ○菊川信人・疋田 努 (京大・理・動物)  
「カナヘビ属における頭骨形態の進化」
- 1B02 10:45～11:00 ○竹内寛彦・疋田 努 (京大・理・動物)  
「日本列島におけるヤマカガシ *Rhabdophis tigrinus* の系統地理」
- 1B03 11:00～11:15 ○戸田 守 (京大・理・動物)  
「爬虫両生類からみた中琉球の歴史生物地理：特にヒメハブとヒヤンの系統地理について」
- 1B04 11:15～11:30 ○疋田 努・岡本 卓・清 拓哉 (京大・理・動物)・松井正文 (京大・人間・環境)  
「東南アジア産ホソユビヤモリ属の系統地理学」
- 1B05 11:30～11:45 ○岡本 卓・疋田 努 (京大・理・動物)  
「遺伝的変異から推定されるニホントカゲの分布と個体数動態の歴史」
- 1B06 11:45～12:00 ○大淵希郷・岡本 卓・疋田 努 (京大・理・動物)  
「日本列島産トカゲ属の性フェロモンについて」
- 12:00～13:30 記念写真撮影 (中庭), 昼食  
(座長：安川雄一郎)
- 1B07 13:30～13:45 ○亀崎直樹 (ウミガメ協/東大・農)・武内有加 (ウミガメ協)・宮内叶 (ウミガメ協)  
「鹿児島県野間池沿岸におけるウミガメ類の生態特性」
- 1B08 13:45～14:00 ○石原孝・亀崎直樹 (東大・農)・松沢慶将・山下傑 (ウミガメ協)  
「日本近海に生息するアカウミガメの齢構成と成熟年齢」
- 1B09 14:00～14:15 ○多田 哲子・坂 雅宏 (京都府保環研)  
「クサガメの雄における性成熟到達時期と精巣周期」
- 1B10 14:15～14:30 ○藤井 亮 (琉大・理工・海環)・太田英利 (琉大・熱生研)  
「核DNAの配列変異に基づくミナマイシガメ *Mauremys mutica* (爬虫綱, イシガメ科) の個体群分類の再検討」
- 1B11 14:30～14:45 ○鈴木 大 (京大・理・動物)・疋田 努 (京大・理・動物)  
「ミトコンドリアDNAに基づくニホンイシガメの系統地理学」
- 1B12 14:45～15:00 ○高橋亮雄 (琉大・21世紀COE)・太田英利 (琉大・熱生研)  
「宮古諸島、多良間島の更新統より発見されたイシガメ類化石の分類学的位置づけについて」
- 15:00～16:30 ポスター発表  
17:30～19:30 懇親会

口頭発表 A会場 (408研修室) 10月26日 (日)

(座長: 田中一上野寛子)

- 2A01 09:30~09:45 ○松井正文 (京大・人間・環境)・ダイクス=ベラブート (マラヤ大)・西川完途・アミール=ハミディ (京大・人間・環境)・ノラヤティール=アハマド (マレー国立大)・ヨン=ホイセン (マラヤ大)  
「マレー半島産ホソウデナガガエル属について」
- 2A02 09:45~10:00 ○島田知彦 (京学大・バイオ環境)・松井正文 (京大・人間・環境)・ポール=ヤンブン (サバ公園)  
「マレーシア・キナバル山の高標高域におけるウデナガガエル属2種の分布について」
- 2A03 10:00~10:15 ○アミール=ハミディ・松井正文 (京大・人間・環境)  
「スンダランド産ウデナガガエル属の遺伝的変異: 真のハッセルトウデナガガエルとの関係」
- 2A04 10:15~10:30 ○住田正幸・佐藤直樹・倉林 敦 (広島大・院理・両生類研)・大海昌平 (奄美市・農林課)・太田英利 (琉大・熱生研)・勝連盛輝 (沖縄県衛生環境研)・福庭博子・菅原芳明・藤井 保 (県立広島大・人間文化)  
「沖縄産と奄美産イシカワガエルにおける遺伝的分化と繁殖隔離機構」
- 10:30~12:00 ポスター発表  
12:00~13:00 昼食  
13:00~14:00 総会 1階 大講義室
- (座長: 見澤康充)
- 2A05 14:15~14:30 ○尾形光昭 (横浜市繁殖センター)・三浦郁夫 (広島大・院理・両生類研)  
「ツチガエルにおけるZ染色体とY染色体の起源と進化」
- 2A06 14:30~14:45 ○倉石典広・松井正文 (京大・人間・環境)  
「シロアゴガエル複合群に見られる遺伝的変異と形態的変異の関係」
- 2A07 14:45~15:00 ○小泉雄紀 (広島国際学院大・工・バイオ)・内藤順一 (祇園北高校)・秋山繁治 (清心女子高校)・藤谷武史 (東山動物園)・三浦郁夫 (広島大・院理・両生類研)  
「広島県に残されたダルマガエル3集団の遺伝的特徴」
- 2A08 15:00~15:15 ○江頭幸士郎 (京大・理)・松井正文 (京大・人間・環境)  
「京都雲ヶ畑産タゴガエルの相対成長」
- 2A09 15:15~15:30 ○富永 篤 (琉大・21世紀COE)・松井正文 (京大・人間・環境)・林 光武 (栃木県博)・西川完途 (京大・人間・環境)・太田英利 (琉大・熱生研)  
「日本産イモリ属2種の分子系統と系統地理」
- 2A10 15:30~15:45 ○西川完途・松井正文 (京大・人間・環境)・江 建平 (中国科学院・成都)・莫運明 (広西自然博)・費 梁 (中国科学院・成都)  
「ムハンフトイモリの形態に見られる地理的変異」
- 15:45~15:50 閉会式



口頭発表 B会場 (409 研修室) 10月26日 (日)

(座長: 森口 一)

2B01 09:30~09:45 ○森 哲・戸田 守 (京大・理・動物)  
「沖縄島北部におけるヒメハブの採餌生態」

2B02 09:45~10:00 ○戸田光彦・中川直美・鋤柄直純 (自然研)・小松謙之 (シーアイシー)  
「新たなトラップの開発に向けたグリーンアノールの産卵場所選択性の調査」

2B03 10:00~10:15 高橋洋生 (自然研)  
「睡眠中のカメレオンの止まり木と対捕食者行動」

2B04 10:15~10:30 ○西村勉・多田春江・福島雅典 (京大・医・探索)  
「超低周波電磁場に対するフトアゴヒゲトカゲの反応」

10:30~12:00 ポスター発表

12:00~13:00 昼食

13:00~14:00 総会 1階 大講義室

(座長: 森 哲)

2B05 14:15~14:30 ○山本友里恵 (琉大・理工・海環)・太田英利 (琉大・熱生研)  
「沖縄島北部で同所的に生息するヤモリ属2種間での1次・2次性比の比較」

2B06 14:30~14:45 木寺法子 (琉大・熱生研)  
「東アジア産のナミヘビ科における副腎サイズとヒキガエル毒耐性との関連性について」

2B07 14:45~15:00 ○鳥羽通久・塚 淳 (蛇研)・城川雅光・中島 康・光定 誠 (都立広尾病院)  
「国内初のトウブグリーンマンバ咬症」

2B08 15:00~15:15 ○坂 雅宏・多田 哲子 (京都府保環研)  
「甲状腺機能攪乱化学物質を検出するためのカエル変態アッセイ」

2B09 15:15~15:30 ○中村泰之 (琉大・理工・海環)・太田英利 (琉大・熱生研)  
「沖縄島産カエル類の現在と最終氷期時との間での体サイズの変異: 特に年齢組成の影響について」

2B10 15:30~15:45 小泉雄紀 (広島国際学院大・工・バイオ)・藤谷武史 (東山動物園)・大谷浩己・  
矢尾板芳郎・三浦郁夫 (広島大・院理・両生類研)  
「尻尾のあるトノサマガエル」

15:45~15:50 閉会式 A会場

## ポスター発表 (411, 412 研修室)

10月25日(土) 15:00~16:30 および 26日(日) 10:30~12:00

原則として、奇数番号の発表は25日(土)、偶数番号の発表は26日(日)

- P01 ○三谷奈保・戸田光彦(自然研)・荻野伊万里(武蔵野美大)・玖須博一(対馬市役所)・野田一男(対馬林業)・松尾公則(長崎北高)  
「対馬における5年間のヌマガエルの分布拡大」
- P02 藤田宏之(埼玉・川の博物館)  
「埼玉県北部で分布拡大するヌマガエル」
- P03 ○村上 裕(愛媛衛環研)・大澤啓志(日大・生物資源)  
「愛媛県におけるトノサマガエルの分布と水田環境との関係」
- P04 ○戸金 大(明治大・院農)・福山欣司(慶応大・生物)・倉本 宣(明治大・農)  
「野外におけるトウキョウダルマガエル幼生の成長」
- P05 Nam-Yong Ra (Dept. Biol., Kangwon Natl. Univ.), Seokwan Jung (Dept. Biol. Edu., Korean Natl. Univ. Edu.), Jung-Hyun Lee, Jun-Ho Eom, Daesik Park (Div. Sci. Edu., Kangwon Natl. Univ.),  
○Hacheol Sung (Dept. Biol. Edu., Korean Natl. Univ. Edu.)  
「Habitat requirements of the gold-spotted pond frog, *Rana plancyi chosonica*: implications for conservation and management plans」
- P06 ○Nam-Yong Ra, Jung-Hyun Lee (Dept. Biol., Kangwon Natl. Univ.), Jun-Ho Eom (Div. Sci. Edu., Kangwon Natl. Univ.), Heon-Ju Lee, Ja-Gyeong Kim (Dept. Biol., Kangwon Natl. Univ.), Daesik Park (Div. Sci. Edu., Kangwon Natl. Univ.)  
「Developing standard rearing and reintroduction protocols of the gold-spotted pond frog, *Rana plancyi chosonica*, an IUCN vulnerable species」
- P07 ○藤原加苗・長谷川雅美(東邦大・理・生物)  
「房総丘陵におけるツチガエルの上陸個体の成長過程」
- P08 ○南部久男(富山科博)・福田 保(富山南高)・荒木克昌(アースコンサル)  
「野積川(富山県)におけるヒキガエル類の産卵場所(2007年)」
- P09 原村隆司(京大・理・動物)  
「塩分に対応したリュウキュウカジガエル幼生の孵化行動」
- P10 ○勝部五葉(環境省・石垣)・小林朋代(環境省・石垣 / (株)いであ)・阿部慎太郎(環境省・那覇)・竹永泰雄(環境省・石垣)  
「八重山諸島・石垣島における外来生物シロアゴガエルの駆除対策と現状」
- P11 ○Kelly Lasater, Hang Lee (CGRB, Coll. Vet. Med., Seoul Natl. Univ.)  
「Creating a digital frog data logger: measuring and monitoring amphibian populations in the twenty-first century」
- P12 ○宗藤悠太(琉大・教育)・富永 篤(琉大・21世紀COE)・本多正尚(琉大・教育)  
「沖縄諸島におけるイボイモリ(両棲綱・イモリ科)の分布に関する予備的調査」
- P13 ○本多正尚(琉大・教育)・富永 篤(琉大・21世紀COE)・田中 聡(沖縄県博)・松井正文(京大・人間・環境)・太田英利(琉大・熱生研)  
「沖縄諸島におけるイボイモリ(両生綱, イモリ科)の系統地理」

- P14 ○中村浩司・多田 諭・金原 功・佐藤 薫・橋本浩史（葛西臨海水族園）・荒井 寛・小木曾正造（井の頭自然文化園）・小川裕子（多摩動物公園）・堀 秀正（上野動物園）・杉野 隆（東京都建設局）  
「イモリはホトケドジョウのいる場所を産卵場として避けるか？」
- P15 ○岡田 純（鳥大・農）・宇都宮妙子（広島市）・岡田珠美（氷ノ山響の森）・Zach Felix（Alabama A&M Univ.）伊藤史彦（鳥大・農）  
「広島県の2小河川におけるオオサンショウウオ個体群の特徴」
- P16 ○太田 宏（東北大・生命科学）・植田健仁（北方生物研）・照井滋晴（環境把握推進ネットワーク）・一北民郎（北電総合設計）・佐藤孝則（天理大・おや研）  
「テレメトリー法によるキタサンショウウオの行動圏調査 II」
- P17 ○伊原禎雄（奥羽大）・稲葉 修（南相馬市博）  
「南相馬市のトウホクサンショウウオにおける結節の発生状況」
- P18 ○Ja-Gyeong Kim (Dept. Bio., Kangwon Natl. Univ.), Ji-Eon Kim, Daesik Park (Div. Sci. Edu., Kangwon Natl. Univ.)  
「Patterns of and responses to the body undulation of male *Hynobius leechii* during mating」
- P19 ○懸川雅市（小松川高）・岸 富士夫（しろうま自然の会）  
「長野県白馬地方北部のハクバサンショウウオの卵囊」
- P20 大澤啓志（日大・生物資源）  
「房総半島南部加茂川低地に点在する段丘崖樹林におけるトウキョウサンショウウオの生息状況」
- P21 ○林 光武（栃木県博）・岡田喜三・小針孝一・笹沼信男・山田靖子・八谷賢治（グリーントラスト うつのみや）・小柴隆一・竹澤竜二（宇都宮市役所）・小村優子（ダイミック）・井上晃一（栃木県博）  
「栃木県宇都宮市のトウキョウサンショウウオ保全対策とその効果」
- P22 中川宗孝（環境生物研究会）  
「京都府南部・南山城地方に於ける両生・爬虫類の生息分布」
- P23 天白牧夫（日大・生物資源）  
「三浦半島における淡水棲カメ類の種構成と生息環境の関係」
- P24 ○庭野 裕・片岡友美・林 真帆・佐藤方博（生態工房）  
「玉川上水における淡水性カメ類の分布と個体群構造」
- P25 ○谷口真理（紀宝町ウミガメ公園/ウミガメ協）・岡本慶（三重大・生物圏）・小菅康弘（カメネットワーク）・亀崎直樹（ウミガメ協/東大・農）  
「船橋川における淡水性カメ類の分布と生息個体数推定の試み」
- P26 ○今津健志（明治大・院農）・長谷川雅美（東邦大・理・生物）・倉本 宣（明治大・農）  
「谷津田におけるクサガメ個体群の年齢構成と空間分布の季節変化」
- P27 ○小菅康弘・森田悦朗（カメネットワーク）・小林頼太（東大・農・生命科学）  
「房総半島における哺乳類が在来淡水性カメ類に与える影響」
- P28 ○光岡佳納子・戸田光彦・三浦貴弘（自然研）  
「カミツキガメ捕獲好適地の検討」

- P29 ○小林頼太（東大・農・生物多様性）・長谷川雅美（東邦大・理・生物）・宮下 直（東大・農・生物多様性）  
「行列モデルを用いた外来種カミツキガメの個体群動態予測」
- P30 大谷 勉・○安川雄一郎（高田爬虫類研・沖縄）・喜屋武優子（沖縄科技機構・情報処理生物）・太田英利（琉大・熱生研）  
「沖縄島北部におけるリュウキュウヤマガメの成長について－謝名城地区での標識再捕獲調査から－」
- P31 ○森 貴久・小島 歩（帝京科学大・アニマルサイエンス）  
「アカミミガメとクサガメの潜水行動の比較：種間競争と種内競争の観点から」
- P32 ○島田貴裕（東大・農）・亀崎直樹（ウミガメ協／東大・農）・青木 茂（東大・農）  
「安定同位体比分析はウミガメ類食性研究に有効な研究手法か？」
- P33 ○山崎陽平・森 貴久（帝京科学大・アニマルサイエンス）  
「タカチホヘビの出現する環境条件：山梨県上野原での例」
- P34 田中幸治（京大・理・動物）  
「色彩二型をしめすシマヘビの黒化型の温度面での優位性は体サイズの違いを生じさせるか？」
- P35 ○Heon-Ju Lee, Jung-Hyun Lee (Div. Sci. Edu., Kangwon Natl. Univ.), Daesik Park (Div. Sci. Edu., Kangwon Natl. Univ.)  
「Comparing body mass and the size of home range of Korean water snake, *Elaphe rufodorsata* before and after laboring」
- P36 ○薮 優子（琉大・理・海自）・山本友里恵（琉大・理工・海環）・太田英利（琉大・熱生研）  
「孵卵温度がヤモリ属（*Gekko*）2種の運動能力に及ぼす影響」

## 大会参加者名簿

(アルファベット順, ○は懇親会参加, 演者としての発表の講演番号のみを記載)

- 赤羽 記年  
○秋田 喜憲  
○青木 玄  
○荒井 寛  
荒尾 智哉  
○江頭 幸士郎, 2A08  
○藤井 亮, 1B10  
○藤田 宏之, P02  
○藤谷 武史  
藤原 加苗, P07  
○福山 欣司, 1A03  
○ゴリス, リチャード  
○ハミディ, アミール, 2A03  
○原村 隆司, P09  
林 真帆  
○林 光武, P21  
○林 聡彦  
○疋田 努, 1B04  
○広瀬 文男  
○本多 正尚, P13  
○星野 一三雄  
○猪狩 千恵  
○伊原 禎雄, P17  
○今津 健志, P26  
○井上 祐子  
○石原 孝, 1B08  
○伊藤 和代  
伊藤 宗彦  
○岩井 紀子, 1A01  
○岩川 敬樹  
○岩田 貴之  
○懸川 雅市, P19  
○亀崎 直樹, 1B07  
○金井 賢一郎  
○菅野 一輝, 1A09  
○片岡 友美  
○片山 亮  
○勝部 五葉, P10  
○木寺 法子, 2B06  
○菊川 信人, 1B01  
○Kim, Ja-Gyeong, P18  
○木村 有紀  
○小林 教太  
○小林 頼太, P29  
○小泉 雄紀, 2A07  
○小泉 有希  
小巻 翔平  
小菅 康弘, P27  
○倉石 典広, 2A06  
○栗田 和紀  
○黒尾 正樹  
○Lasater, Kelly, P11  
○Lee, Heon-Ju, P35  
○前田 憲男  
○丸山 一子  
○間曾 左智子  
松井 久実, 1A06  
○松井 正文, 2A01  
○松木 崇司, 1A10  
○松尾 公則  
○見澤 康充, 1A04  
○三谷 奈保, P01  
御手洗 望  
○光岡 佳納子, P28  
○三浦 郁夫, 2B10  
○宮崎 ますみ  
○森 哲, 2B01  
○森 貴久, P31  
○森口 一  
宗藤 悠太, P12  
○邑井 徳子  
○村上 裕, P03  
○永田 元春  
○中川 宗孝, P22  
○中村 浩司, P14  
○中村 光順, 1A07  
○中村 泰之, 2B09  
○南部 久男, P08  
○西川 完途, 2A10  
西本 純子  
○西村 勉, 2B04  
○庭野 裕, P24  
○尾形 光昭, 2A05  
○荻野 伊万里  
○大渕 希郷, 1B06  
○大西 拓, 1A02  
○岡田 純, P15  
○岡田 珠美  
○岡本 慶  
○岡本 卓, 1B05  
大澤 啓志, P20  
○太田 宏, P16  
○Ra, Nam-Yong, P06  
○坂 雅宏, 2B08  
○坂本 真理子, 1A11  
○阪田 和弘  
○佐々木 史江  
○佐藤 方博  
○千石 正一  
○島田 貴裕, P32  
○島田 知彦, 2A02  
○薮 優子, P36  
○末吉 豊文  
住田 正幸, 2A04  
○Sung, HaCheol, P05  
○鈴木 大, 1B11  
○多田 哲子, 1B09  
○田口 勇輝, 1A12  
○高木 雅紀  
○高橋 亮雄, 1B12  
○高橋 洋生, 2B03  
○竹田 千尋  
○竹中 践  
○竹内 寛彦, 1B02  
○田中 幸治, P34  
○田中一上野 寛子, 1A05  
○谷口 真理, P25  
天白 牧夫, P23  
○戸田 守, 1B03  
○戸田 光彦, 2B02  
○戸金 大, P04  
富樫 忠志  
○富永 篤, 2A09  
○富岡 克寛  
○鳥羽 通久, 2B07  
渡部 裕介  
○山本 友里恵, 2B05  
山崎 陽平, P33  
○安川 雄一郎, P30  
山岸 学雄  
○吉川 夏彦, 1A08  
○吉村 雅子  
○吉澤 賢治  
○湯浅 義明  
○湯本 光子